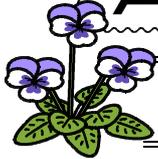




# 往生山だより



## 一週間が過ぎました。(家庭訪問実施します)

突然の休校から一週間、子ども達はどのように過ごしているのでしょうか。

先日の報道(いわき市から初の感染者等)で少なからず動揺が広がっていることと思いますが、子ども達にはホームページでも、過剰に反応することなく、いつも通りの感染防止に努めて欲しいことを伝えました。テレビでは専門家の方々が入れ替わり立ち替わり感染予防の方法を説いています。最終的には、「人混みにはできるだけ近づかない。手洗い、うがいをしっかり行う。規則正しい生活(早寝・早起き・朝ご飯)を送る。」ことに尽きるようです。

慌ただしし中での休校だったため、保護者の皆様から、その後のアンケート調査で、いくつかの疑問点や要望を頂きました。学校では、子ども達の健康と安全を第一と考えていますが、学習面も、もちろん心配です。本日の家庭訪問で一人一人の学習の状況も確認し、課題については今後対応していきたいと考えています。また、一度乱れてしまった生活習慣を戻すのは大変です。健康を崩してしまったら、休校本来の目的が損なわれます。どうぞ、ご家庭でもご指導をお願いします。

なお、本日の家庭訪問の際に、中止となった給食試食会の返金(申込者)があります。また、少しでも学校の在庫からマスクを全児童に再配付します。(留守等で配付されなかった場合は次週の家庭訪問でお配りします。)

### 児童の皆さんへ(お家の人に読んでもらいましょう)



休校で学習が途中になってしまったり、準備していたお楽しみ会が中止になってしまったりして、残念な事が多いのですが、皆さんの健康と安全を守るための対応ですから理解してください。

休校中の注意点(大勢の人の集まる場所へは行かない等)は、学校でお知らせしたとおりですが、その他にもお願いがあります。それは、せつかくの休校ですから、いつもはできないことにもじっくりとチャレンジして欲しいということです。

勉強は計画的にすませて、外に出て遊んだり、ゆっくりと読書したりするいい機会です。絵を描いたり、何かを作ったり、お家の人のお食事の準備を手伝ったりするのも楽しいものです。(ゲームをしたりYouTubeを見たりすることはいつでもできます。それに今日は「いりとおっ子デー」です。)

いわき市でも、ウイルスの感染者が確認されましたが、大げさに心配することはありません。「早寝・早起き・朝ご飯。」いつも通りの生活を心がけましょう。またデマに惑わされないようにすることも大切です。

先生方も、いつもと変わらずに通勤し様々な仕事をしています。学習面や生活面で何か困ったこと分からないことがあれば、すぐに学校に連絡をください。いつでも待っています。



<先生方はいつも通り>



(散歩中、学校の近くで春を見つけたよ。さてなんていう名の草花かな?)

## 児童のみなさんへ<その2>

※下学年の子ども達はお家の人に読んでもらってください。

### 9年前の3月11日に東日本大震災がありました。

9年前の平成23年3月11日(金)午後2時46分18秒, マグニチュード(地震の大きさ)9の観測史上最大の地震が, わたしたちを襲いました。地震とその後の大津波によって, 死者は15, 899人, 行方不明者は2, 529人と発表されています。

その時, 校長先生は玉川村(福島空港の近く)の小学校で, 担任をしていた6年生と一緒に, 週明けに行われる「卒業を祝う会」の準備を体育館で進めていました。突然大きなゆれと共に, 体育館の床が上下し出し, 上を見るとつり下げ式のライト(入野小と同じ物)が, 大きく振り子のようにゆれ, あと数cmで天井にぶつかりそうでした。子ども達はパニック状態で, 悲鳴が飛び交う中, 何とか会場に準備していた長机に全員が潜り込むことができました。しかし, ゆれはすぐには治まりません。とにかく6年生を外に出さなくてはと思いましたが, 放送機器はこわれ, スピーカーからは何の指示も流れませんでしたので, 「避難するぞ, いいか! 」と大声で, 6年生37名を校庭へ走らせました。

校庭には, 他の学年の子ども達や先生方もぞくぞくと集まり, 何とか全員が避難しました。すると, 突然雪がちらついてきたのです。みんなが着の身着のまま避難してきたので, 寒くて仕方ありません。すぐに, 何人かの先生方が教室のジャンパーを取りに行くことになりました。校長先生は, 安全の係だったので, その場に残って子ども達と一緒にいることにしましたが, まだかすかにゆれが続いている状態でしたので心配でした。ですから, 無事にジャンパーをたくさん抱えて戻ってきた先生方にととても感謝しました。その後, お迎えに来ることができない家庭の子ども達を送って行ったり, 1・2年生の無事を確認するため家庭訪問をしたりしていたので, 家に帰ったのは夜中でした。

校長先生の勤務していた学校も住んでいた町も, 幸いに犠牲になった人はほとんどいませんでした。しかし, 他の市町村では, 建物の下敷きや津波にあい多くの命が奪われたり, 大きな被害が出たりしました。震災直後, 放射能の影響から避難を強いられ, 今でも古里に帰ることもできない人達がたくさんいることは, みなさんも知っていると思います。小学生もたくさん亡くなりました。

当時, みなさんはまだ小さかったので, あまり覚えていないかもしれませんが, 震災を経験したたくさんの方がその時のことを思うと, 胸が締め付けられるような感覚になります。今でも, 当時のことは口にしたくない人も多いのが現状です。

「のど元を過ぎれば熱さを忘れる」ということわざがあります。時間が過ぎてしまったり, 自分に関係のないことだったりすると, だんだんと記憶も薄れていき, 何事もなかったように感じます。もちろん一日中考えていることはできませんが, 今日, 3月11日は, 当時のことをお父さんお母さんに聞いたり, 家族で避難方法を確認したりする, そんな一日にしてください。

震災の後, 県内から転校して行った小学生が, 「放射能がうつる」と差別された事件も発生しました。先日, 新型コロナウイルスに感染した人達が差別されていると, ニュースで聞きましたが, 同じことが繰り返されているようで, とても胸が痛くなりました。

放射能とウイルスはもちろん違いますが, 人を差別したり, さげすんだりすることは, とても恥ずかしい行いです。お家の人とこのことについても話題にしてみてください。

23日会えることを楽しみにしています。(校長先生より)